

1.神戸版ブラックリスト 2025 概要

1.1.選定対象生物群

表 1 ブラックリスト 選定対象生物群

動物	哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・魚類(淡水・汽水産)・昆虫類・クモ類・甲殻類(淡水・汽水産)・貝類(陸産)・貝類(水棲)
植物	シダ植物・種子植物

注 1)哺乳類は、海棲哺乳類は対象外

注 2)魚類は原則「山溪ハンディ図鑑 増補改訂 日本の淡水魚」(山と溪谷社、2025)に掲載されている種を淡水・汽水産とした

注 3)貝類(水棲)は、淡水域及び海岸域(概ね大潮最低干潮線を下限とする範囲)に生息する種が対象

1.2.カテゴリー

表 2 ブラックリストカテゴリー

カテゴリー	選 定 理 由
外来生物種	国外から侵入して生態系に著しい被害を与えている、又は与えるおそれのある動植物で、すでに駆除等の対策が講じられている、もしくは今後の実態把握に努めて対策を検討する必要がある。
侵入警戒種	国外由来の種で、神戸市では確認されていないが侵入・定着のおそれがある、もしくは確認されたことがあるが、防除対策等により継続的に確認されていない種で、定着した場合に生態系や農林業、人への健康に及ぼす影響が大きいと予想される。
緑化・植栽種	国内他地域や国外から緑化・植栽の目的で移入されたことにより、生態系や遺伝子レベルでの悪影響が懸念されることから、緑化や植栽の際に情報を提供して注意を喚起する必要がある。

1.3.選定結果

選定の結果、外来生物種 80 種(動物 27 種、植物 53 種)、侵入警戒種 4 種(動物 1 種、植物 3 種)、緑化・植栽種 15 種を選定した。

表 3 神戸版ブラックリスト選定結果

分類		外来生物種	侵入警戒種	緑化・植栽種	合計
動物	哺乳類	5 (5)	0 (0)	-	5 (5)
	鳥類	2 (2)	0 (0)	-	2 (2)
	爬虫類	1 (2)	0 (0)	-	1 (2)
	両生類	1 (1)	0 (0)	-	1 (1)
	魚類(淡水・汽水産)	4 (4)	0 (0)	-	4 (4)
	昆虫類	7 (1)	0 (4)	-	7 (5)
	クモ類	1 (1)	0 (0)	-	1 (1)
	甲殻類(淡水・汽水産)	1 (1)	0 (0)	-	1 (1)
	貝類(陸産)	2 (1)	0 (1)	-	2 (2)
	貝類(水棲)	4 (4)	0 (0)	-	4 (4)
動物合計		28 (22)	0 (5)		28 (27)
植物(シダ植物・種子植物)		53 (53)	3 (3)	15 (15)	71 (71)
合計		81 (75)	3 (8)	15 (15)	99 (98)

注) ()内はブラックリスト 2020 での種数

ブラックリストの見方

●兵庫県BL2010

(兵庫県の生物多様性に悪影響を及ぼす外来生物リスト)
(ブラックリスト)(2010)
Y:注意種
Z:警戒種

●環境省 外来生物法

(特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律)

特定 :特定外来生物
特定(要緊急):要緊急対処特定外来生物
特定(条件):条件付特定外来生物

●追加

○ 神戸版ブラックリスト2025に新たに追加された種
△ 神戸版ブラックリスト2020侵入警戒種から外来生物種に追加された種

●環境省・農林水産省生態系被害防止外来種リスト

(我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある)
外来種リスト

総合対策:総合的に対策が必要な外来種

緊急(緊急対策外来種)

重点(重点対策外来種)

その他(上記いずれにも該当しない種)

産業管理:適切な管理が必要な産業上重要な外来種

定着予防:定着を予防する外来種

侵入(侵入予防外来種)

その他(上記に該当しない種)

【外来生物種】

■動物(28種)

No.	分類	科名	種和名	追加	兵庫県 BL2010	環境省 外来生物法	環境省・農林水産省 生態系被害防止 外来種リスト
1	哺乳類	ネズミ科	クマネズミ		Z		総合対策・緊急
2	哺乳類	ヌートリア科	ヌートリア		Z	特定	総合対策・緊急
3	哺乳類	アライグマ科	アライグマ		Z	特定	総合対策・緊急
4	哺乳類	イタチ科	シベリアイタチ		Z		総合対策・重点
5	哺乳類	ジャコウネコ科	ハクビシン		Z		総合対策・重点
6	鳥類	ソウシチョウ科	ソウシチョウ		Z	特定	総合対策・重点
7	鳥類	ムクドリ科	ハッカチョウ		Y		
8	爬虫類	ヌマガメ科	ミシシippアカミミガメ		Z	特定 (条件)	総合対策・緊急
9	両生類	アカガエル科	ウシガエル		Z	特定	総合対策・重点
10	魚類(淡水・汽水産)	コイ科	タイリクバラタナゴ		Y		総合対策・重点
11	魚類(淡水・汽水産)	カダヤシ科	カダヤシ		Y	特定	総合対策・重点
12	魚類(淡水・汽水産)	サンフィッシュ科	ブルーギル		Z	特定	総合対策・緊急
13	魚類(淡水・汽水産)	サンフィッシュ科	オオクチバス		Z	特定	総合対策・緊急
14	昆虫類	カミキリムシ科	ツヤハダゴマダラカミキリ	○	Z	特定	
15	昆虫類	カミキリムシ科	クビアカツヤカミキリ	△	Z	特定	総合対策・その他
16	昆虫類	アリ科	ハヤトゲフシアリ	△		特定	
17	昆虫類	アリ科	アルゼンチンアリ		Z	特定	総合対策・緊急
18	昆虫類	アリ科	アカカミアリ	△		特定 (要緊急)	総合対策・緊急
19	昆虫類	アリ科	ヒアリ	△	Y	特定 (要緊急)	定着予防・侵入
20	昆虫類	ミツバチ科	セイヨウオオマルハナバチ	○	Z	特定	産業管理
21	クモ類	ヒメグモ科	セアカゴケグモ		Z	特定	総合対策・緊急
22	甲殻類(淡水・汽水産)	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ		Y	特定 (条件)	総合対策・緊急
23	貝類(陸産)	コウラナメクジ科	チャコウラナメクジ		Y		
24	貝類(陸産)	オカクチキレガイ科	オオクビキレガイ	△	Y		総合対策・その他
25	貝類(水棲)	イガイ科	ムラサキイガイ		Z		総合対策・その他
26	貝類(水棲)	イガイ科	コウロエンカワヒバリガイ		Y		総合対策・その他
27	貝類(水棲)	シジミ科	タイワンシジミ		Z		総合対策・その他
28	貝類(水棲)	リンゴガイ科	スクミリンゴガイ		Z		総合対策・重点

【備考】

本州のクサガメは、近年の研究で大陸由来の外来種である可能性が高いとされており、在来種のニホンイシガメとの交雑による遺伝子攪乱が深刻な問題とされています。しかし、クサガメを外来種と断定するには更なる研究が必要であり、現段階における判断は慎重にならざるを得ません。また、長年在来種として扱われていたことから、社会的な認知が十分でない背景があります。その為、現段階におけるブラックリストへの追加はせず、現状や課題について市から周知を図り、飼育個体の野外放逐の防止等の対策を啓蒙していく方針です。

■ 植物(53種)

No.	科名	種和名	追加	兵庫県 BL2010	環境省 外来生物法	環境省・農林水産省 生態系被害防止 外来種リスト
1	イワヒバ科	コンテリクラマゴケ				総合対策・その他
2	サンショウモ科	外来アゾラ類		Z	特定*	総合対策・緊急
3	ジュンサイ科	フサジュンサイ				総合対策・重点
4	サトイモ科	ポタンウキクサ		Z	特定	総合対策・緊急
5	トチカガミ科	オオカナダモ		Z		総合対策・重点
6	トチカガミ科	コカナダモ		Y		総合対策・重点
7	アヤメ科	キショウブ		Y		総合対策・重点
8	ヤシ科	シュロ				総合対策・その他
9	ヤシ科	トウジュロ				総合対策・その他
10	ツユクサ科	ノハカタカラクサ				総合対策・重点
11	ミズアオイ科	ホテイアオイ		Z		総合対策・重点
12	カヤツリグサ科	シュロガヤツリ				総合対策・重点
13	カヤツリグサ科	メリケンガヤツリ				総合対策・重点
14	イネ科	シナダレスズメガヤ		Z		総合対策・重点
15	イネ科	キシウスズメノヒエ				総合対策・その他
16	イネ科	チクゴスズメノヒエ				総合対策・重点
17	イネ科	モウソウチク		Y		産業管理
18	イネ科	セイバンモロコシ		Y		総合対策・その他
19	アリノトウグサ科	オオフサモ		Z	特定	総合対策・緊急
20	マメ科	イタチハギ		Z		総合対策・重点
21	マメ科	アレチヌスビトハギ				総合対策・その他
22	マメ科	ハリエンジュ		Z		産業管理
23	ウリ科	アレチウリ		Z	特定	総合対策・緊急
24	アカバナ科	コマツヨイグサ		Y		総合対策・重点
25	ニガキ科	ニワウルシ		Y		総合対策・重点
26	アブラナ科	オランダガラシ				総合対策・重点
27	ヒユ科	ナガエツルノゲイトウ		Z	特定	総合対策・緊急
28	アカネ科	メリケンムグラ				
29	アカネ科	オオフタムグラ				総合対策・その他
30	キョウチクトウ科	ツルニチニチソウ				総合対策・重点
31	ヒルガオ科	アメリカネナシカズラ				総合対策・その他
32	ヒルガオ科	アメリカアサガオ				総合対策・重点
33	ヒルガオ科	マルバアメリカアサガオ				総合対策・重点
34	ヒルガオ科	マメアサガオ				
35	ヒルガオ科	マルバアサガオ				総合対策・重点
36	ヒルガオ科	ホシアサガオ				総合対策・その他
37	オオバコ科	ウキアゼナ				総合対策・その他
38	オオバコ科	オオカワヂシャ		Z	特定	総合対策・緊急
39	ゴマノハグサ科	フサフジウツギ		Z		総合対策・重点
40	タヌキモ科	エフクレタヌキモ		Z	特定	総合対策・重点
41	クマツヅラ科	ヤナギハナガサ				総合対策・その他
42	クマツヅラ科	アレチハナガサ		Y		総合対策・その他
43	キク科	オオブタクサ		Z		総合対策・重点
44	キク科	オオキンケイギク		Z	特定	総合対策・緊急
45	キク科	ククイモ		Y		
46	キク科	オオハンゴンソウ		Z	特定	総合対策・緊急
47	キク科	ナルトサワギク		Z	特定	総合対策・緊急
48	キク科	セイタカアワダチソウ		Y		総合対策・重点
49	キク科	メリケントキンソウ		Z		
50	キク科	アカミタンポポ				総合対策・重点
51	キク科	セイヨウタンポポ				総合対策・重点

■植物(つづき)

No.	科名	種和名	追加	兵庫県 BL2010	環境省 外来生物法	環境省・農林水産省 生態系被害防止 外来種リスト
52	ウコギ科	ブラジルチドメグサ		Z	特定	総合対策・緊急
53	ウコギ科	ウチワゼニクサ		Y		総合対策・重点

*：特定外来生物に指定されているのは、アソラ・クリスタータ

【侵入警戒種】

動物（0種）、植物（3種）

No.	分類	科名	種和名	追加	兵庫県 BL2010	環境省 外来生物法	環境省・農林水産省 生態系被害防止 外来種リスト
1	植物	オモダカ科	ナガバオモダカ				総合対策・重点
2	植物	アカバナ科	オオバナミズキンバイ		Z	特定	総合対策・緊急
3	植物	キク科	ミズヒマワリ		Z	特定	総合対策・緊急

【緑化・植栽種】

植物（15種）

No.	科名	種和名	追加	兵庫県 BL2010	環境省 外来生物法	環境省・農林水産省 生態系被害防止 外来種リスト
1	スイレン科	園芸スイレン		Y		総合対策・重点
2	イネ科	ネズミホソムギ				産業管理
3	イネ科	ネズミムギ		Z		産業管理
4	イネ科	ホソムギ				産業管理
5	イネ科	ボウムギ				産業管理
6	イネ科	オニウシノケグサ				産業管理
7	マメ科	トウコマツナギ		Z(県外産・国外産)		
8	マメ科	ヤマハギ		Z(県外産・国外産)		
9	マメ科	メドハギ		Z(県外産・国外産)		
10	マメ科	マルバハギ		Z(県外産・国外産)		
11	バラ科	タチバナモドキ		Y		総合対策・その他
12	バラ科	トキワサンザシ		Y		総合対策・その他
13	カバノキ科	オオバヤシャブシ		Z(県外産・国外産)		
14	トウダイグサ科	ナンキンハゼ		Z		総合対策・その他
15	モクセイ科	外来イボタ類(トウネズミモチ、セイヨウイボタ(ヨウシュイボタ)、シナイボタ等)		Z(トウネズミモチ)、 Y(セイヨウイボタ)		総合対策・重点*

*：総合対策・重点の指定は、トウネズミモチ